

らぶれたー

おかげさまで
20th
ANNIVERSARY

2020年
1月号
vol.70

発行：株式会社ラプロス
発行人：代表取締役 樋口繁樹
〒810-0001
福岡市中央区天神1丁目12番1号
日之出福岡ビル5階
TEL092-737-2211
FAX092-737-2212
弊社のHPは下記URLよりご覧いただけます。
<http://www.lapros.co.jp/>

近年の自然災害による被害にあわれた方々には、謹んでお見舞い申し上げますと共に、被災地の一日も早い復旧を心より祈念いたします。
私たちラプロスは、できることから被災地への復興支援に貢献をしたいと思っております。

いよいよ 東京オリンピック ですね

新年おめでとうございます。今年1年が皆様方にとりまして平穏無事な良い年になりますようにお祈り申し上げます。

あえて平穏無事と言わなければならない程、近年は地震、豪雨災害が毎年のように全国各地を襲い、三陸地方は東日本大震災後によりやく復旧した三陸鉄道が台風19号でまたも運休になるなど、何をどこまで警戒して日々の生活を送るのか、考えるときりがなくなる(これを世の中の的には想定外というのでしょうか)領域に入りました。

そんな中、この夏に開催される東京オリンピック・パラリンピックは皆さんに明るい笑顔と高揚感をもたらす楽しみなイベントです。前回の東京五輪は僕が2才の時に記録映像でしか観たことがありません。

メキシコ五輪は君原選手が頭を傾げた苦しいフォームで万歳してゴールし、銀メダルを取ったシーンを微かに憶えています。(あとで何度も映像でみた方の記憶かも)

僕にとっての五輪はやはりミュンヘン五輪から。男子バレーボールの金メダルです。松平監督率いる大古、森田、横田のピ

ッグ3、セッター猫田。そう、昨年秋のTV番組『ノーサイドゲーム』でのプレ盛り上がり期間？を経てラグビーワールドカップが爆発的に盛り上がったように、当時は『ミュンヘンへの道』というアニメドキュメンタリー番組が直前に放映され、満を持してオリンピックに突入、しかも待望の金メダル獲得、当時ソ連にはあまり勝てなかった日本の決勝の相手は東ドイツだったのも神様が味方についたな〜！と子供ながら思いました。

今回はラグビーと同じく日本での開催。水泳、柔道、野球、陸上、7人制ラグビー。盛り上がりがないわけがありませんよね。もっと楽しみなのは、スポーツクライミング、空手、サーフィンなどの新種目で冬季長野五輪のカーリングのようにスポットを浴びる競技が出てこないかな？とついつい期待します。新競技場再コンペ、市場移転、マラソン会場変更などドタバタし税金の無駄遣いじゃないかなど色んな？？？もありますが、一生に一度の思い出作り、ラグビー同様、各地で色んなことを乗り越えて純粋にご当地選手に近い皆さん方も含めて、日本全体で盛り上がるといいな！と心から願います。

本年もラプロス丸は協力各社さんの力をお借りしながら、コツコツと真面目に取り組んで参ります。皆様方の応援とご指導今年も宜しくお願いします。

今年の挑戦！

公の部分では、『若い世代の新人脈をつくる！』福岡でのこの業界歴30年、業界人脈も当然高齢化してリタイア組も増えてまいりました。社内でも若い社員にノウハウ・技術を与える、継承する立場ですが、ことエネルギーに関しては与えるというより頂くことが多くなってきました。これではいけません。社外の若いエネルギーを社内にも持ち込めるように動きます。私の部分では、『オルレ』にトライしようと思っております。ハイキングみたいなものですね。もともと山で育った人間なので、マイナスイオンが身体にしみついています。ここ数年業務も忙しく、新しいことに挑戦する時間もとれず…今年こそはプライベートでのチャレンジ元年にします。趣味の読書については乱読は毎年のことですが、今年は5巻以上ある長編ものにチャレンジしたいと思っております。



代表取締役 樋口繁樹

ご購入者 インタビュー



インタビュアー：野村正樹
文責：鄭世英

今回は福岡市内に建築条件付き宅地をご購入いただき一戸建てを建てられたW様にインタビューさせていただきました。

■ 家を購入しようと思われたきっかけなどありましたか？

— 実は最初は自宅兼お店で考えてて…。

でも子供たちに地面、土を踏んで育ててほしくて一戸建てに決めました。

また、毎月賃料を払うんだったら持ち家のほうが良いと思いました。それに勤務先にも遠くて交通費もかかっていたので、それがなくなって嬉しいです。



こだわりの自然素材を使ったリビング

■ W様にとっての理想の家とは何ですか？

— 温かい家です。特に吹き抜けにはこだわりましたね。

あとは自然素材の家ということです。漆喰とか無垢材を使っていたいただきました。空間や空気が心地よくなるし温度調整をしてくれるので、素材にはこだわりました。もっと使ってもよかったです。

■ 家を建ててから変化したことはありますか？

— 奥さんが優しくなったこととか、通勤時間が短くなったことです。

子供たちに関しては、自由に動き回れるようになったことですかね。以前は賃貸マンションに住んでいて足音とかを気にしていたんですが、一戸建てになったことで子供たちが走り回れるようになり、僕も妻も怒ることがなくなりました。

あとは、以前はできなかった家庭菜園やバーベキューもできるようになって、家庭菜園は四季を感じられるので楽しいです。ブルーベリーなどを育てています。

■ 住んでみて良かったと思う点、お気に入りのスペースはありますか？

— 良かったことしかないですね。野村さんと出会ったことも良かったことですよ。

でも挙げるなら動線ですね、最高です。こだわった甲斐がありました。キッチンからお風呂場、リビング横の和室を、家事をしながら子供たちの様子を見れるので安心します。和室は子供の体調が悪い時に寝かせられるので、とても助かりました。たまに僕たちも寝てて、そうすると子供たちも集まってきて皆で雑魚寝してます。お気に入りの場所ですね。

あと2階のホールを子供たちが遊べるように広く作っていただきました。



広めに作った2階ホール

ご協力いただいたW様、貴重なお話をいただきありがとうございました。

らぶれたーでは今後もご購入者様に貴重なお話をお聞かせさせていただきたいと思っております。

免許皆伝

menkyo kaiden

その50 『原点をふりかえる』の巻

私アラキの戸建てへの思いをつらねるこのコーナー、50回目となりました。2020年に50回目。新年にキリのよい数字が続くと、おめでたく感じます。そんなおめでたい気持ちで明日に向かう前に、ちょっと振り返ってみます。

誰にも、原点となる家があると思います。私の場合、階段室型の4階建て団地の一室が、記憶の中にある家の原点です。物心ついたときの原風景は、4階の窓から見える海岸の工場群の煙突でした。高校を卒業して進学するために家を出るまで、その団地で育ちました。昭和40年代初期に建てられたそれは、2間続きの和室からなる狭い2DKで、個室などというものはありません。自分の部屋がない家で受験勉強をするために、家族と生活時間をずらして未明から朝にかけて机に向かっていました。今思えば、狭く、冬は寒く、お風呂はきゅうくつで、けて住みやすいという家ではありませんでしたが、家族や団地内の友だちと楽しく過ごしていました。

我が国の戦後の高度成長期には、都市部での住宅

不足を解消するために、このような団地が数多く建設されています。51C型プランというのをご存知でしょうか？1951年に東京大学の吉武泰水先生らによって設計された、団地の間取りの代表とも言えるものです。吉武先生は、食事をする場所と就寝する場所は別々にするべきという食寝分離論を唱えられ、それがその後の公団住宅に受け継がれました。

51C型プランは、40㎡ほどの中に2間続きの和室、ダイニングキッチン、洗濯・洗面室を備えた最小限の家でした。もちろん、個室もプライバシーもありません。それでも、1家族の生活の入れ物であるその間取りでの生活は、その時代に生きた人たちの暮らし、成長、幸せを支えていました。その当時は、狭いとか、不便とか、そんなことを感じる必要はなかったのでしょうか。



もうひとつ、私の原点となる家があります。結婚し、子どもが生まれたことをきっかけに借りた戸建ての家です。間取りとしては2LDKなのですが、リビングを中心とした開放的なプラン。洗面とトイレが同室で、ガラス張りのお風呂が洗面から丸見え

というものでした。家族間で隠すものもありませんので、用を足す横で妻と子どもいたりする、今思えば普通ではない生活をしていました。葉祥栄氏という有名な建築家が設計したその家は、二人の子どもを育てるのにとても楽しい家でした。その後、自分で設計して家を建てたのですが、そのときの生活が下地となった家になっているように思います。

私の原点となる2つの家には、どちらもプライバシーというものを保つことができないものでした。どこにいても気配がわかる、家族が何を考えているのかが伝わってくる。それが子どもの成長や家族のつながりを楽しく、明るく包んでくれる。それが家というものに必要な、大切な機能だと考えています。

私たちラプラスがプロスペリテシリーズの戸建てをつくりはじめて、今年で10年になります。その間、私が無意識に意識していたのは、原点となる2つの家です。プライバシーはなくても家の中の気配がかよふことで、そこでの子どもたちの成長、家族の暮らしが幸せであることを願いながら。私は家をつくります。



こたわりとしてある中で心と体の健康でこたわってきたことをそれぞれ記させていただきます。

ひとつは「心」の健康のために長年『生花』を活けることにしています。

最近は大分県大山町の農産物直売店の花束ですが、お値段はお花屋さんの3分の1程度で購入できるのでとても気に入っています。

バラのとげは多く、葉が汚れていたりしますが、少し手間をかけることで満開になるまで萎れることなく咲く花の姿は美しく期待を裏切らず心を癒してくれます。話しかける気持ちで毎日水切りをする時間もまた気持ちの良いものです。ひと手間をかけるというこたわりで得る美しさと満足感。心を潤し何物にも代えがたいものです。もうひとつの「体」の健康へのこたわりは数年続いている毎朝の『ラジオ体操』です。YouTubeのお気に入り『第一・第二』を登録しています。毎朝起床後、コップ一杯の御白湯を飲み体へ水分を含ませ目覚めさせます。それから『♪ちゃんチャチャちゃん♪ラジオたいそうだいいち〜!』約7分間みっちり体操。気が付いたことは日によって体調の善し悪しが判ります。眩暈持

ちの私は『なんか今日は変だな・・・?』と感じます。そういう時はさっと常備薬を服用して大事をとるようにしています。体調が良いとキレッキレで動かせるのでとても気持ちがいいものです。たかがラジオ体操と思われるかもしれませんがかなりオススメです。旅行先でも手軽にできます。肩こり・腰痛軽減で元気に過ごせています。

年々回復力が落ちてきたと感じますが毎日の体操のおかげで自分の体のコンディションを把握することで充実した毎日を送ることができているような気がします。

人生100年時代と言われる今日この頃人生の最期まで五体で五感を生かしたいと願っています！今年も元気にハツラツと頑張りたいと思います。よろしく願いいたします。



ご家族・ご友人をご紹介ください！

5 商品券
万円分

ご紹介者さまにプレゼント！

※ご紹介者さまからの紹介でご成約に至った場合

ラプラス20周年を記念して弊社で現在販売中の新築戸建、プロスペリテシリーズにつきまして、ご紹介キャンペーンを実施中です！

ぜひ、ご家族・ご友人の方をこプロスペリテシリーズの戸建につきましては、右記からラプラスホームページでご覧いただけます。



編・集・後・記

お客様にお家をイメージしていただくものとして模型があります。ラプラスでは、毎年夏にインターンシップとして来てくれている九州産業大学建築学科の学生さんに、模型作りをお願いしております。今年は男子大学生が2人来てくれ、プロスペリテ光丘町の模型をつくってくれました。



おかげさまで販売も好調です♪ 次は、プロスペリテ七隈駅の模型をつくってくれています。模型の出来上がりもお家の出来上がりも楽しみですね。